2026 年　父母の為の就職セミナー《名古屋》報告書

本会理事　伊藤　誉示乎

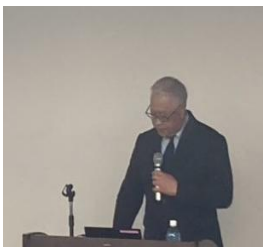
10 月 31 日(土)AP 名古屋にて《父母の為の就職セミナー》を開催致しました。
6 月の懇親会に続き 27 組 37 名と、今回もたくさんの御父母にご参加いただきました。
就活が始まった三年生ではなく、一年生、二年生の御父母が殆どで就活の早期化が
御父母の皆様にも影響しているのかと思われました。
地方は子供達と離れているため、より感じる不安や疑問をこのセミナーで少しでも解消して
いただければ、また、よりよい形で支援、見守りをしていただければと思います。
当日は、卒業生の会である〝樹徳会〟の役員様より、ご挨拶と１００周年の記念会報
をご提供いただきました。
開催にあたりご尽力いただいた皆様に感謝を申し上げ、プログラムが始まりました。

第一部

基調講演　『親世代の常識が通じない最新トレンドとスケジュール』

株式会社キャンパスサポート　上江　吉春　氏

ES、ガクチカ、グルディスなどといった親世代では聞き慣れない就職活動関連ワード。
活動スケジュールの早期化と情報収集、応募の仕方の変化。
環境と企業選びの価値観、企業側の採用環境の変化。
そして、保護者の役割、子供とのかかわり方について



講演映像　『同志社大学の就職状況とキャリア支援』

１０月１２日京都就職活動セミナー

就職活動の変化(早期化、長期化、多様化、厳選採用)
情報収集など活動のオンライン化。動画やＡＩの適切な活用
同志社生の幅広い業界への就職実績。キャリアセンターでの就職支援の流れ。

第二部　　就職活動体験談

商学部 4 年生　山崎翔生　氏

サークルを引退した 1 月から本格的に活動。3 月からの本選考で 40 社以上にエントリー。
6 社から内々定。6 月に活動終了。
意識したことは、成果だけでなく取り組みの過程、失敗や挫折経験を入れる事。
能力検査、性格検査はしっかりと対策が必要。
グループディスカッションでは、とにかく話すこと。
沢山経験、友達と練習。
面接では、質問の意図を考える。会話に一貫性を、
といった具体的なお話を聞かせていただけました。



商学部４年生　加藤清花　氏

加藤さんは９月まで留学されており、卒論と行事で就活は 12 月半ばから始め、３月には納得の内定で活動終了と驚く速さの就活だったようです。

色々な国への留学経験と、太田原ゼミから〝イブ祭で焼きそば 2000 食売上達成〟という楽しい経験をお話いただきましたが、そこで経験された事が就活にも大きく役立っておられる事がよくわかりました。



また、就活中のよくある悩みで、情報がありすぎて翻弄される。絶え間なく不安になるといった事もお話いただき、子供達の気持ちを知れたことが良かったです。

商学部卒業生　丸本雄希　氏

丸本さんの活動は早期から凄い。というのが印象的でした。

当時のスケジュールアプリをみせて下さいましたが、就活に関する予定がびっしりで　目の当たりにすると子供達の大変な様子がよくわかりました。



お友達の真似から早くから始めた就活だったそうですが、数をこなして経験することで、苦手も改善、こつをつかめる、余裕ができる、と大正解だったそうです。

メルアドを分けなかったことと、証明写真を自撮りしたことは失敗だったそうで、プロの写真とでは同一人物とは思えない違いでした。

第三部　　座談会

上江氏と登壇の３名、就活真っ只中の三年生伊藤氏に各テーブルへ入っていただき座談会を行いました。

活動の時期や企業選び、具体的な面接の様子など、様々な質問で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。

その後、アンケートにお答えいただいて名古屋就職セミナーを閉会いたしました。





